



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

武蔵野小だより

令和2年9月1日発行

変化するもの 変わらないもの

先月までの暑さもいくぶん和らぎ、登校する子どもたちの表情も明るさを増しているように感じられます。

今年度は、新型コロナという「変化するもの」への対応に目が行き、落ち着くことができない日々を過ごしています。

一方で、学校には「変わらない大切なもの」があります。そのひとつが子どもたちの「学力」です。一部学習が制限される中であっても、授業によく集中し、前向きに取り組む様子には、感心させられます。

ところで、その「学力」とは何か、改めて取り上げてみたいと思います。学力とは、テストの点数のことでしょうか。それとも考える力、あるいは学習意欲や態度のことでしょうか。歴史的には多様な議論や変遷がありましたが、現在、文部科学省は、子どもたちに必要な資質・能力として、「知識・技能」「未知の状況にも対応できる思考力・表現力・判断力」「学びに向かう力・人間性」の3つを示しています。また、周りの人たちと共に考える過程を通し、協調性や創造性、挑戦する気持ちや粘り強さなどを同時に獲得できるように、その学び方も重視しています。



1学期末に行った「リモート授業」。担任と離れた場所においても、やる気と真剣さは変わりません。

(感想より)

「今まで感じたことのない空間だった。」

「リモートじゅぎょうをやってきんちょうしたけど、どんどんなれていきました。」

「みんなの顔が見えて、コロナでも安心できます。」

9月は学力向上強化月間

本校でも「学力」を広く捉えるとともに、この9月を「学力向上強化月間」とし取組を重点化することといたしました。

「子どもたちがつくり上げる授業」を目指し、1時間の授業を、「めあて」と「見通し」をもつ→自分の力でじっくりと考えノートに表現する→他の人の考えも参考に互いに学び合う→「まとめ」をして学習を振り返る という学び方を基本に進めていきます。また、算数のT T (ティーム・ティーチング) やコース選択学習など少人数指導にも力を注いでまいります。

小学校での学習は、人生を切り拓く素地を培う大変重要なものです。学校としても子どもたちの学力を可能な限り伸ばしていきたいと考えています。

なお、今年度1学期は、通知表の配付が9月4日となっています。担任からお子さんが頑張った点などについてお伝えしますので、各ご家庭でも授業の様子や家庭学習の状況をお聞きになり、お子さんの努力をほめて認めていただければ幸いです。

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす